

第2学年 学びのカテゴリー「野菜」

第1学年では、「遊び」を通して、自分が興味・関心をもった対象に楽しみながら関わり、自分の世界を広げてきた。第2学年では、「野菜」をカテゴリーと設定した。「野菜」というコンテンツが、児童にとって身近であり、収穫や食べたときの喜びを味わえたり分かち合えたりできるよさが、児童の発達段階に適していると考えたからである。一人一人が願いをもち、試行錯誤をしながら探究を進めた先に、「できた」「やってよかった」という達成感を味わうことで、探究することのよさを実感する子を生み出した。

第1単元では、「自分で育てた野菜を食べてみたい。」「家族のために作りたい。」という願いを基に「野菜を大切に育てていこう。」と考え、よりよく育つ方法を調べたりお家の方や野菜名人に聞いたりしながら、活動を工夫してきた。毎日一生懸命野菜の様子を観察し、献身的に世話を続けてきたことで、「葉っぱの数が増えた。」「花が咲いた。」「収穫できた。」といったような充実感を得ることができた。

第2単元では、第1単元で味わった収穫の喜びを基に「育てた野菜をもっとたくさんの人に食べてもらいたい。」という、他者意識をもった野菜作りへと思考が変化している。野菜のよりよい生長に向け「自分のやるべきことを果たしていこう。」という思いをもち、収穫に向けて「どのように野菜と関わるとよいか。」「育てた野菜により親んでもらうにはどうするとよいか。」など、仲間と話し合いを繰り返しながら活動をしている。

自分の野菜と関わり続けること、野菜を通じた人との出会いから新たな視点、考えに気付くことを通して、よりよい生き方を探究し続けている。

松尾雄太郎
鈴木 香子
桐山 裕也

2年2組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：野菜（全140時間）

<p>第2学年の目標</p>	<p>(1) 問題解決力に関わって 願いに合った野菜を栽培する活動を通して、見通しをもちながら試行錯誤を続けたり、実現可能かどうかを立ち止まって考えたりし、やり切ることができるようにする。</p> <p>(2) 関係構築力に関わって 願いに合った野菜を栽培する中で生まれたジレンマやエラーについて考える活動を通して、解決するために必要なことを伝え合い、よりよい考えを生み出し、活動できるようにする。</p> <p>(3) 貢献する人間性に関わって 願いに合った野菜を栽培する活動を通して、育てる喜びや人を幸せにする良さに気づき、自他のために行動する態度を養う。</p>
<p>カテゴリー設定の理由</p>	<p>第1学年では、「遊び」を通して、自分が興味・関心をもった対象に楽しみながら関わり、自分の世界を広げてきた。第2学年では、「野菜」をカテゴリーと設定した。「野菜」というコンテンツが、子供たちにとって身近であり、収穫や食べたときの喜びを味わえたり分かち合えたりできるよさが、発達段階に適していると考えたからである。一人一人が願いをもち、試行錯誤をしながら探究を進めた先に、「できた」「やってよかった」という達成感を味わうことで、探究することのよさを実感する子を生み出したい。</p>
<p>学びの基盤となる道徳的諸価値</p>	<p>善悪の判断、自律、自由と責任・希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやり・感謝・礼儀・友情、信頼 勤労、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・自然愛護・感動、畏敬の念</p>
<p>学びを構成する要素</p>	<p>人 自分 仲間 家族 地域の人 店の人 農家 給食に携わる人 学校 野菜 畑 土 水 太陽 気候 季節 虫 鳥 自然 育てる 働く 食べる 渡す 売る 伝える 願い 喜び 献身的 達成感 充実感 魅力 自己の成長 感謝</p>
<p>月</p>	<p>4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>
<p>単元名(時数)</p>	<p>よし！やろう！！野菜づくり！！ ～やさいをそだててたべよう～ (43)</p> <p>よし！やろう！！えがおいっぱい野菜大作戦 ～ぜん校のなかまのために～ (57)</p> <p>よし！やろう！！とどけよう！！ ～より多くの人に～ (40)</p>
<p>主な学習活動</p>	<p>○1年生までのどう生きるかでの学びを振り返り、「どんな野菜を」「誰のために」育てたいのかを明確にする。 ○「はつた大根」作りを行い、野菜の生長の過程を学ぶ。 ○「はつた大根」の振り返りから、よかつたことや問題点を明らかにして夏野菜作りにつなげる。 ○夏野菜調べを行い、願いや理由を明確にもって、自分が育てたい野菜を決める。 ○願いの表明に向けて、土作り、動作、野菜の世話を行う。 ○国語「かんざつ名人になろう」での観察の視点をもとに、野菜の変化を捉える。 ○必要に応じて、情報収集や人に聞く活動を行い、問題の解決と行動を繰り返す。 ○問題解決の過程で生まれた、全体で考えるべき事柄についてグループや全体で話し合い、判断する。 ○収穫や誰かに食べさせてもらったこと、自分で食べられたことで願いが実現した喜びを共有する。 ○探究してきたこと（願い、解決方法、わがしたこと、楽しかったこと、どう乗り越えたか）を振り返る。 ○野菜の生長や収穫に向けて、夏休み前や夏休み期間中の世話について考え、実行する。</p>
<p>想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】</p>	<p>●水をあげたいけれど、他のなかまがやってしまう。水の調整がうまくできない。 ●自分は○(野菜)をもっと育てたいという思いと、活動時間を守らなければいけないという思いが葛藤する。 ●せっかく大切な芽が出てきたのに、開ききするのほもたない。 ●毎日の世話、観察を忘れてしまう。 ●みんなは育っているのに、どうして自分の苗はうまく育っていないのか、分からない。 ●野菜を大きくおいしい野菜に育てる方法が分からない。 ●虫や鳥が野菜が食べられてしまう。 ●自分のよさや成長に気づくことができない。 ●思っていたような収穫(量、質)ができない。 【希望と勇気、努力と強い意志・家族愛、家庭生活の充実・自然愛護・感動、畏敬の念】</p>
<p>人材活用 施設</p>	<p>・JA厚見支店の方 ・加納にある野菜の販売店 ・家の人 ・おいしいさん、おばあさん ・野菜に詳しい先生 ・3年生や4年生</p>
<p>教科等との関連</p>	<p>・国語：図書かんたんけん 春がいつぱい かんざつ名人になろう メモをとるとき こんなもの 見つけたよ 夏がいつぱい ・算数：せいのりしかた 2けたのたし算 2けたのひき算 長さのたんい 100より大きな数 かざのたんい 時とくど時間 ・音楽：かぼちゃ ・図工：たのしくうつつて ともだち見つけた！</p>

夏野菜の世話と収穫を続ける、
収穫や食べる喜びを感じる

2年2組 単元シート		本単元の目標				
単元名		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性		
よし！やろう！！ えがおいっぱい野菜大作戦 ～ぜん校のなかまのために～ (57)		①願いを基に全校のために野菜を栽培する活動を通して、野菜と向き合い、試行錯誤しながら問題を解決できるようにする。 ②野菜作りを通して、問題解決に向けて、他者と関わったり、給食に出すことが実現可能かどうかを立ち止まって考えたりし、野菜のお世話をやり切ることができるようにする。	①給食に出せる野菜にするために必要だと思うことを人に伝えたり、受け入れたりして、考えを再構築できるようにする。 ②これまで調べたことや聞いたことを基に、野菜を元気に育てる方法を自分で考えたり、仲間と一緒に行動に移したりできるようにする。	①野菜が生長し、給食に提供できたことに、うれしさや楽しさ、喜びを感じ、学びを振り返ることで、自分にできることを続けていこうとする態度を養う。 ②他者からの反応を受け止めることで、願いの実現に向けて大切なことを実感し、自分の良さを生かして行動しようとする態度を養う。		
活動の計画	○夏野菜の経験を振り返り、探究したよさを確かめる。(貢献①) ○夏野菜を育てた経験や、4月の児童の願いの中の言葉から「全校のために」どんな野菜を育てたいか、願いを明確にする。(貢献②) (10)	○栄養教諭や調理員との対話を通して、思いを知り、野菜との向き合い方を考える。(関係①) ○安全で美味しい野菜づくりを目指すために、専門家と出会い、野菜を育てる際の新たな視点や解決方法を知る。(問題②) ○自分や他者の考えを基にしながら野菜作りに取り組み、試行錯誤を続ける。(問題①) (10)	○虫や病気の被害を避け、より元気に育てる方法はないか、自分で調べたり仲間を考えを聞いたりしながら、対応策を考える。(問題②) ○全校からの実際の声を受けて、人のために野菜を育てることや、難しいことに向き合うことの良さを実感する。(関係②) (10)	○全校の仲間においしく食べてもらうために、全校に伝えることを考える。(貢献①) ○給食に出た野菜について、全校や栄養教諭、調理員の声から、どんなことを考えていかないといいなかったのか振り返る。(貢献①) (10)	○「全校」「給食に携わる人」の両方のためになる野菜作りを目指し、試行錯誤しながら世話を続ける。(問題①) ○野菜を収穫し、栄養教諭や調理員に確かめてもらい、これまでの取組の達成感を味わう。(関係①) (10)	○これまで探究してきたことを振り返る。(貢献①) ○冬休み明けの学習の見通しをもつ。(貢献②) (7)
加除修正欄	○雑草だらけになってしまった畑を整える。(関係②)	○				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜を育ててきた自分の活動に満足感を持ち、「全校の仲間のために」という願いをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食に携わる人の思いや、自分たちの育てた野菜を学校給食に出すためには条件があることを知り、よりよいものを創り出そうとする思いをもつ。 調べたことを基に育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 元気でおいしい野菜に育てるための方法を調べ、自分の野菜作りに必要なことを行う。 育てた野菜をどのように調理するとおいしく食べられるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食に自分たちが育てた野菜が出ることを伝える方法を考える。 育ててきた途中で頑張ったことや、栄養教諭の思いを伝えたいと願う。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の生長を観察することで、その変化に気付く。 何を大切にしながら育てたかを伝える方法を考える。 収穫や給食に提供できたことに喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの活動が、多くの人の笑顔と自分の喜びにつながったことに気付く。 自分の成長に気付く。
実際の姿	<ul style="list-style-type: none"> たくさん収穫できる野菜を育てて、給食に出したり、家族に食べてもらったりしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きくおいしく育ててほしいという願いをもって、大切に育てることで、大きくおいしく育つはず。毎日様子を見に行くよ。 				
●エッセンス	<ul style="list-style-type: none"> ■人のために、継続して世話をする必要があるのに、継続して世話をすることが難しい。 ■多くの人に食べてもらうためには、考えなければならないことが多くあり、全てを解決することが難しい。 ■学級や学年の仲間と協力する必要があるが、意見をまとめることや共に活動することが難しい。 ■丁寧に育てたととしても、廃棄される野菜が生まれてしまい、廃棄を無くすことが難しい。 		<ul style="list-style-type: none"> ●たくさん作ろうとすると、一つ一つの野菜の世話が疎かになってしまう。一つ一つを大切にしようとするとなんか野菜を作ることは難しい。どちらにすればよいのだろう。 ●作った野菜を給食で食べてもらえてうれしかったが、実際には育てた野菜に問題があったことがわかった。本当にこれから大切にしなければならないことは何だろう。 			

2年2組 本時案 (2年2組教室)

目標

自分たちが育てた野菜を給食に使ってもらうまでの過程や思いを発信するための方法と内容を仲間と交流する活動を通して、全校の仲間に「よりおいしく食べてもらいたい」という共通の願いを基に、発信する内容を工夫することができる。(関係構築力)

本時 (33/57)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p>1 これまでを振り返り、本時の見通しを確認する。 ○今日は全校に伝える方法と伝えたい内容について交流しよう。みんなの願いは何だったかな。 ・全校の仲間によりおいしく食べてもらいたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>全校のなかまに、何をつたえたら、 自分たちが作った (やさい) をよりおいしく食べてもらえるかな。</p> </div> <p>2 仲間と全校の仲間に伝える方法を考える。 ○全校の仲間はどうやって伝える？ ・畑にある野菜を紹介する動画を撮って、朝の会や帰りの会でクラスに見せに行きたい。直接反応を見ることができるから。 ・野菜を作っている様子の写真を撮って、チラシを作って持っていきたい。本当は直接野菜を見せたいけれど、教室まで持っていきることができないから、写真なら分かりやすくなると思う。</p> <p>3 実際に、話をしたり動画を撮ったりする。 ※少人数グループ内で話したり撮ったりして、作っていく。</p> <p>4 作っているものを仲間と見せ合って、より分かりやすくなるように工夫する。 ○素敵な工夫がたくさんあるよ。自分たちが作った物を紹介したい班はある？ ※作っている途中で一度見せ合って、感想を伝え合う。 ・3年生は、去年野菜を育てているから、「みなさんが去年作ってくださった小松菜のように、おいしい野菜になるように大切に育ててきました。病気にならないように、葉の様子を毎日見ました。」(葉の様子を見ている自分の姿の写真を見せながら話す。) ・(畑にある野菜を見せながら)「毎日、葉の表と裏のすみずみまでよく見て、虫がいないか確かめたよ。一週間でこれくらい大きくなっているよ。」 ・「給食を楽しみにしていてね。」という一言を付け足すと、4年生はもっと楽しみにしてくれるかもしれないよ。 ・「成長するために必要な栄養がバランスよくとれるように、使う野菜を決めていると堀先生が言っていました。給食に出してくるものは全部食べると体が強くなりますよ。」 ・栄養は難しい言葉だと思うけど、5年生には分かると思う。</p> <p>5 本時を振り返り、生み出した考えを書く。 ・○○さんが言っていたように、自分たちが野菜をどのように育ててきたか写真を見せながら紹介することで、給食に出ることを楽しみにしてくれる人が増えるかもしれない。3年生がどう思うか、3年生に見せた時の様子が気になる。早く見せたい。</p>	<p>○前時までに明らかになった全校に伝えたい内容を掲示しておくことで、伝える内容が選択できるようにする。</p> <p>○これまでの畑の野菜を育ててきた経験を基に内容を交流できるように「これまでいろいろな工夫してきたけど、どんなことをしたら大きく元気に育った?」「畑の世話をしている、嬉しかったことはあった?」と、問いかける。</p> <p>○苦手な野菜でもおいしく感じた実体験を思い出すことができるように、夏野菜を育てた経験や栄養教諭や調理員さんがどんな思いで給食を作っているのか振り返る。</p> <p>○自分たちの苦手な野菜を頭に浮かべ、仲間が話した願いや思いを伝えられたら食べられそうか、問いかける。</p> <p>○子供の発言に対して、理由を問い直し、裏にある願いや思いに気付かせる。</p> <p>○自分たちが作っているものを仲間と見せ合うことで、より良いものを作っていけるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか 自分たちが育てた野菜を使った給食について全校に伝える方法や伝えたい内容について、仲間と交流しながら工夫している。 (関係構築力) ・発言の様子や振り返りシートから見届ける。</p> </div>

2年3組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：野菜（全140時間）

<p>第2学年の目標</p>	<p>(1) 問題解決力に関わって 願いに合った野菜を栽培する活動を通して、見通しをもちながら試行錯誤を続けたり、実現可能かどうかを立ち止まって考えたりし、自分たちが決めた活動をやり切ることができるようにする。</p> <p>(2) 関係構築力に関わって 願いに合った野菜を栽培する中で生まれたジレンマやエラーについて考える活動を通して、解決するために必要なことを伝え合い、よりよい考えを生み出し、活動できるようにする。</p> <p>(3) 貢献する人間性に関わって 願いに合った野菜を栽培する活動を通して、育てる喜びや人を幸せにするよさに気づき、自他のために行動する態度を養う。</p>											
<p>カテゴリー設定の理由</p>	<p>第1学年では、「遊び」を通して、自分が興味・関心をもった対象に楽しみながら関わり、自分の世界を広げてきた。第2学年では、「野菜」をカテゴリーと設定した。「野菜」というコンテンツが、子供たちにとって身近であり、収穫や食べたときの喜びを味わえたり分かち合えたりできるよすがが、発達段階に適していると考えたからである。一人一人が願いをもち、試行錯誤をしながら探究を進めた先に、「できた」「やってよかった」という達成感を味わうことで、探究することのよさを実感する子を生み出したい。</p>											
<p>学びの基盤となる道徳的諸価値</p>	<p>善悪の判断、自律、自由と責任・希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやり・感謝・礼儀・友情、信頼 勤労、公共の精神・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団生活の充実・自然愛護・感動、畏敬の念</p>											
<p>学びを構成する要素</p>	<p>人 自分 仲間 家族 地域の人 店の人 農家 給食に携わる人 学校 野菜 畑 土 水 太陽 気候 季節 虫 鳥 自然 育てる 働く 食べる 渡す 売る 伝える 願い 喜び 献身的 達成感 充実感 魅力 自己の成長 感謝</p>											
<p>月</p>	<p>4月</p>	<p>5月</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>	<p>2月</p>	<p>3月</p>
<p>単元名(時数)</p>	<p>よし！やろう！！にこにこまんてん野菜大作戦 ～やさいをそだててたべよう～ (43)</p>					<p>よし！やろう！！ えがおいっぱい野菜大作戦 ～ぜん校の仲間のために～ (57)</p>					<p>よし！やろう！！ とどけ野菜大作戦 ～より多くの人に～ (40)</p>	
<p>主な学習活動</p>	<p>○1年生までのどう生きかでの学びを振り返り、「どんな野菜を」「誰のために」育てたいのかを明確にする。 ○「はつか大根」作りを行い、野菜の生長の様子を実感する。 ○「はつか大根」の振り返りから、よかったことや問題点を明らかにして夏野菜作りにつなげる。 ○夏野菜調べを行い、願いや理由を明確にもって、自分が育てたい野菜を決める。 ○願いの実現に向けて、土作り、畝作り、野菜の世話をし、野菜の変化を捉える。 ○園語「かんさつ名人になろう」での観察の視点をもとに、野菜の変化を捉える。 ○必要に応じて、情報収集や人に聞く活動を行い、問題の解決と行動を繰り返す。 ○問題解決の過程で生まれた、全体で考えるべき事柄についてグループや全体で話し合い、判断する。 ○収穫や誰かに食べてもらったこと、自分で食べられたことで「願いが実現した喜びを共有する。 ○探究してきたこと（願い、解決方法、うれしかったこと、難しかったこと、どう乗り越えたか）を振り返る。 ○野菜の生長や収穫に向けて、夏休み前や夏休み期間中の世話について考え、実行する。</p>					<p>○夏野菜を収穫した経験や、食べたり育ててもらったりしたことを振り返り、探究したことよさを確かめる。 ○4月の願いの中の言葉から、「全校の仲間のため」という方向付けをする。 ○「全校の仲間のため」とどんな野菜を育てたいのか、願いを明確にする。 ○調理室の先生や栄養教諭や調理員さんとの対話を進めていき、野菜との向き合い方を考える。 ○美味しい野菜を目指すために、専門家と出会い、野菜を育てる際の新たな視点や解決方法を知る。 ○自分や他者の考えをもとにしながら野菜作りに取り組み、試行錯誤を続ける。 ○全校からの実際の声を受け、人のために野菜を育てることや、難しいことに向き合うことよさを体感する。 ○収穫された野菜が実際に虫に食べられていたため、全て使うことができず、給食で提供する量が足りていなかった事実を知り、その問題をどう乗り越えるかを考え、願いを再構築する。 ○さらに「全校」「給食に携わる人」の両方のためになる野菜作りを目指し、試行錯誤しながら世話を続ける。 ○野菜を収穫し、栄養教諭や調理員さんに確かめてもらい、これまでの取組の達成感を味わう。 ○これまでの探究してきたことを振り返る。</p>					<p>○給食のプロジェクトを振り返り、全校の仲間が自分たちの活動を通して笑顔になってもらったこと、「野菜を育てる良さ」や「難しいことを乗り越えられた経験」を確かめ、今後の活動の願いを明確にする。 ○自分たちが作った野菜をより多くの人に食べてもらうためには、どうしていくとよいか、活動の見直しをもつ。 ○「やさいブック」を作り、育てた生長の様子をまとめて作った思いも一緒に届ける。 ○チームに分かれ、育てる野菜や育て方を考え、野菜を育てる。 ○より安全で美味しい野菜作りを進めるとともに、その魅力を伝えるためにできることを考え、準備を進める。 ○2年生へつなぐとともに、1年間の探究を振り返る。</p>	
<p>想定されるジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】</p>	<p>■育てるために、自分から働く必要があるとわかっていながら、継続して世話をすることが難しい。 ■育てるための情報を収集するも、実際に使える情報が何かを選択することが難しい。 ■教えられた解決方法がどういふことなのかからず、活用することが難しい。 ■大切に育てている野菜をボール遊びやカラスから守るための方法を考えることが難しい。 ●大切に育てている野菜なのに、育てるために「狭く」ことをやらなければならないこと。 ●自分がただやりたいことをしていくのか、本当に野菜のためになることをするのか。 【希望と勇気、努力と強い意志・家族愛、家庭生活の充実・自然愛護・感動、畏敬の念】</p>					<p>■人のために、継続して世話をする必要があるので、継続して世話をすることが難しい。 ■多くの人に食べてもらうためには、考えなければならないことが多くあり、全てを解決することが難しい。 ■学級や学年の仲間と協力する必要があるが、意見をまとめることや共に活動することが難しい。 ■とどけだけ丁寧に育てたとしても、廃棄される野菜が生まれてしまい、廃棄を無にするのが難しい。 ●たくさんつくろうとすると、一つ一つの野菜の世話が疎かになってしまう。一つ一つを大切にしようとするたくさんの野菜をつくることは難しい。どちらにすればいいだろう。 ●作った野菜を給食で食べてもらえてうれしかったが、実際には育てた野菜に問題があったことがわかった。本当にこれから大切にしなければならないことは何だろう。 【希望と勇気、努力と強い意志・感謝・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・自然愛護・感動、畏敬の念】</p>					<p>■「より多くの人に」に渡すためにはどうすればよいか、品質的な問題を解消するにはどうしてよいか分らない。 ■何を伝えていくのか、どう伝えていくとよいか、仲間と考えが合わない。 【善悪の判断、自律、自由と責任・希望と勇気、努力と強い意志・新設、思いやり・礼儀、感謝・自然愛護・感動、畏敬の念】</p>	
<p>人材活用施設</p>	<p>・JA厚見支店の方 ・加納にある野菜の販売店 ・家の人 ・おじいさん、おばあさん ・野菜に詳しい先生 ・3年生や4年生</p>					<p>・加納にある野菜の販売店 ・家の人 ・おじいさん、おばあさん ・野菜に詳しい先生 ・3年生や4年生 ・給食に携わる人（栄養教諭、調理員、食品を運搬する人） ・附属小中学校の仲間や先生 ・農家</p>					<p>・加納にある野菜の販売店 ・家の人 ・おじいさん、おばあさん ・野菜に詳しい先生 ・3年生や4年生 ・給食に携わる人（栄養教諭、調理員、食品を運搬する人） ・附属小中学校の仲間や先生・農家</p>	
<p>教科等との関連</p>	<p>・国語：図書かんたんけん 春がいっぱい かんさつ名人になろう メモをとるとき こんなもの、見つけたよ 夏がいっぱい ・算数：せいりしかた 2けたのたし算 2けたのひき算 長さのたんい 100より大きい数 かさのたんい 時くと時間 ・音楽：かほちゃ ・図工：たのしくうつて ともち見つけた！</p>					<p>・国語：秋がいっぱい そうだんにのってください おもちゃの作り方をせつめいしよう みきのたからもの ・算数：三角形と四角形 かけ算 かけ算九九作り 長いもの長さのたんい ・音楽：たがっきパーティー ・図工：音作りフランス わくわくおはなしゲーム パタパタストロー</p>					<p>・国語：冬がいっぱい すてきどころをつたえよう 楽しかったよ、2年生 ・算数：1000より大きな数 分数 はこの形 ・図工：たのしかったドキドキしたよ</p>	

夏野菜の世話と収穫を続ける、収穫や食べる喜びを感じる

2年3組 単元シート		本単元の目標					
単元名		問題解決力		関係構築力		貢献する人間性	
よし!やろう!! にこにこまんてん野菜大作戦 (57)		①願いを基に全校のために野菜を栽培する活動を通して、野菜と向き合い、試行錯誤しながら問題を解決できるようにする。 ②野菜作りを通して、問題解決に向けて、他者と関わったり、実現可能かどうかを考えたりして、野菜の世話を最後までやり切ることができるようにする。		①給食に出す野菜にするために必要だと思うことを伝えたり、受け入れたりして、考えを再構築できるようにする。 ②これまで調べたことや聞いたことを基に、世話の仕方や諸問題への対策を自分で考えたり、仲間と一緒に行動に移したりできるようにする。		①野菜が生長し、附属の仲間に食べてもらえたことで、自己や他者の嬉しさや楽しさ、喜びを感じ、学びを振り返ることで、自分にできることを続けていこうとする態度を養う。 ②他者からの反応を受け止めることで、願いの実現に向けて大切なことを実感し、自分のよさを生かして行動しようとする態度を養う。	
活動の計画	○夏野菜を収穫して食べたり食べてもらったりしたことを振り返り、探究したことのよさを確かめる。(貢献①) ○4月の児童の願いの中の言葉から、「全校の仲間のために」どんな野菜を育てたいのか、願いを明確にする。(貢献②) (10)	○栄養教諭や調理員との対話を通して思いを知り、野菜との向き合い方を考える。(関係①) ○安全で美味しい野菜作りを目指すために、専門家と出会い、新たな視点や解決方法を知る。(問題②) ○自分や他者の考えを基にしながら野菜作りに取り組み、試行錯誤を続ける。(問題①) (10)	○全校の仲間に野菜を食べてもらうだけでなく、より楽しく食べてもらうために自分にできることを考える。(貢献①) ○全校からの実際の声を受けて、人のために野菜を育てることや、難しいことに向き合うことのよさを実感する。(関係②) (10)	○虫よけ、病気など、よりおいしく育てる方法はないか、自分で調べたり仲間の考えを聞いたりしながら、対応策を考える。(問題②) ○給食で出た野菜について、全校、栄養教諭や調理員さんの声から、どんなことを考えていかないといいなかったのか振り返る。(貢献①) (10)	○「全校」「給食に携わる人」の両方のためになる野菜作りを目指し、試行錯誤しながら世話を続ける。(問題①) ○野菜を収穫し、栄養教諭や調理員さんに確かめてもらい、これまでの取組の達成感を味わう。(関係①) (10)	○これまで探究してきたことを振り返る。(貢献①) ○冬休み明けの学習の見直しをもつ。(貢献②) (7)	
加除修正欄	○夏野菜の畑をどうしていくとよいか考え、実行する。 ○栄養教諭との話からどんな野菜がよいのか考える。	○全校に出すためには、どんな野菜が適しているのか調べる。 ○土づくりや、たねをうえる準備をする。					
想定される姿	・夏野菜を育ててきた自分の活動に満足感をもつとともに、今度は、「全校の仲間のために作りたい」という願いをもつ。	・給食に携わる人の思いや、自分たちの育てた野菜を学校給食に出すためには条件があることを理解する。 ・調べたことを基に育てる。	・収穫のタイミングを考え、お世話を続ける。 ・自分たちの作った野菜により親しんでもらうための方法を考える。	・野菜の成長を観察することで、その変化に気付く。 ・大きくおいしく育てるための方法を知り、自分の野菜作りに必要なことを行う。	・野菜の成長を観察することで、その変化に気付く。 ・収穫や給食に提供できた喜びを感じる。	・自分たちの活動が、多くの人の笑顔と自分の喜びに繋がったことに気付く。 ・自己の成長に気付く。	
実際の姿	・野菜を全校やお世話になった人たちに届け、食べた人を笑顔にしたいという願いをもつ。	・育てる野菜が決まり、「みんな」で育てる意識を強くする。 ・毎日観察し発芽していないか調べる。					
●エラー ●ジレンマ	■人のために、継続して世話をする必要があるので、継続して世話をすることが難しい。 ■多くの人に食べてもらうためには、考えなければならないことが多くあり、全てを解決することが難しい。 ■学級や学年の仲間と協力する必要があるが、意見をまとめることや共に活動することが難しい。 ■どれだけ丁寧に育てたとしても、廃棄される野菜が生まれてしまい、廃棄をなくすことが難しい。 ●たくさん作ろうとすると、一つ一つの世話が疎かになってしまう。一つ一つを大切にしようとするとなんかの野菜を作ることは難しい。どうすればよいだろう。 ●作った野菜を給食で食べてもらえてうれしかったが、実際には育てた野菜に問題があったことがわかった。これから大切にしなければならないことは何だろう。						

